

地理院地図の取り組み

国土地理院





基本測量に関する長期計画(平成26年4月策定)

- 地理空間情報(基準点、地図、空中写真等)の活用について従来の紙媒体での刊行物等の利用からインターネット上の地図等のデジタルデータの利用に急速に軸足を移してきていることや東日本大震災の発生を踏まえ、国土地理院が主体となって行うべき施策を明らかにすることを目的とする。
- 長期計画は、平成26年～35年の10年間を計画期間として、次の二つを重点戦略としている。

防災分野を足掛かりとして、地理空間情報の整備力・活用力の向上の全国レベルでの推進

新産業の創生や国民の利便性向上等のための行政機関などが保有する地理空間情報の流通・活用の促進

地理空間情報の整備提供

電子基準点 電子国土基本図 緊急避難場所記号 空中写真

継続的に国土の状況を把握し、関係機関及び国民に提供
VLBIによる国際観測、電子基準点の運用、電子国土基本図の整備、外国人にもわかりやすい地図表現検討会

行政機関における地理空間情報の適切な整備・提供の推進
公共測量成果等の利活用環境の整備

効率的に正確さの確保を実施
スマートサーベイプロジェクト(SSP)

現状における国土の危険性を把握し、関係機関及び国民に提供
緊急避難場所及び避難所等の地図記号
航空レーザ測量データの整備と活用
防災地理情報の整備

災害時における国土の状況を把握し、関係機関及び国民に提供
ALOS2による地殻・地盤変動情報の提供
電子防災情報システム、空中写真撮影

地理空間情報の活用推進



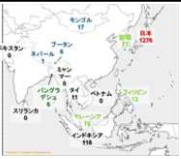

地理院地図 G空間EXPO

行政機関等が保有する測量の成果等の地理空間情報を流通・活用しやすくするための環境整備
地理空間情報ライブラリー
地理院地図(地理院地図3D)
地方公共団体との連携・協力

行政機関等の地理空間情報を民間事業者などが円滑に利用できるようにするための環境整備
オープンデータへの対応
防災アプリケーション開発・普及の促進

人材育成・知識の普及
G空間EXPO2014

連携・協力 技術研究開発



測量技術の海外展開

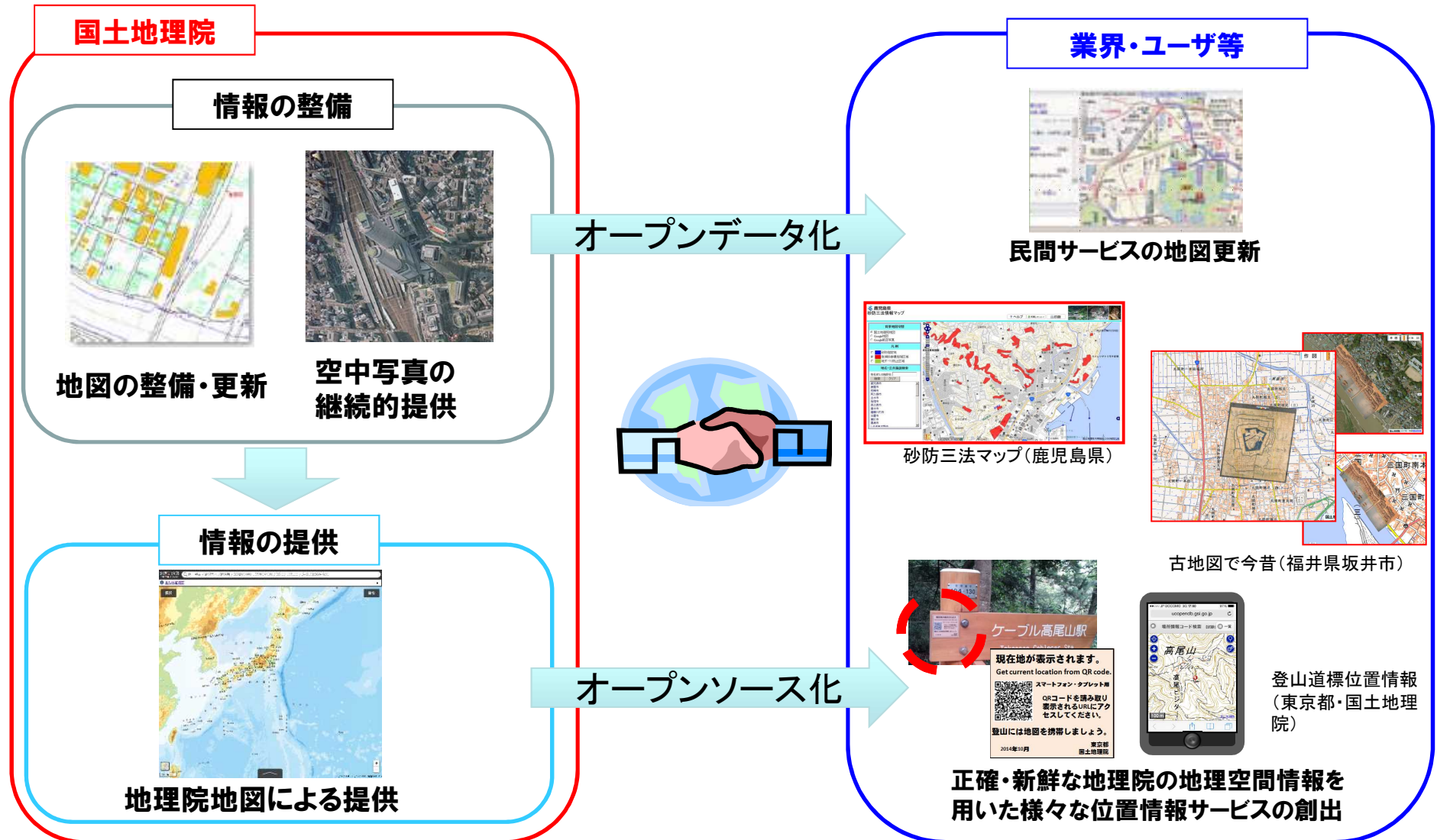
産学官における連携・協力
場所情報コードの位置情報サービスへの運用

国際連携・協力
幅広い連携・協力(国際協力)
測量技術の海外展開

技術研究開発
研究開発の促進

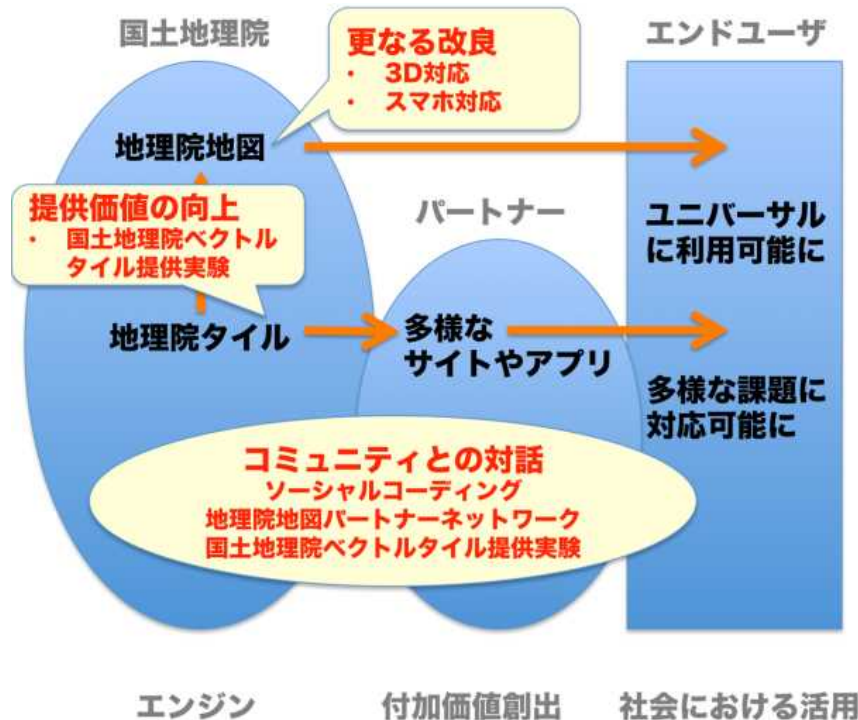
地理院地図に関する取り組み

- 東日本大震災を契機に、絶えず変化し続ける国土において、地理空間情報の正確性・鮮度に関する国土地理院へのニーズが増加。
- 国土地理院では国土の状況を正確・迅速に把握するためのデータ整備・公開に注力し、民間等による応用を促進することで、様々な位置情報サービスの創出など業界・地域活性化に貢献する取り組みを行っていく。



インターネットの良質な「地図インフラ」の提供を追求

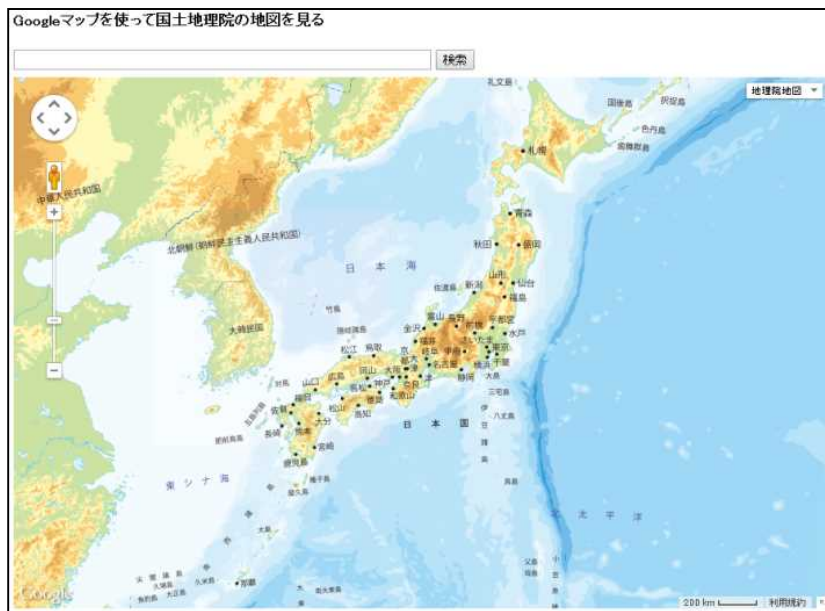
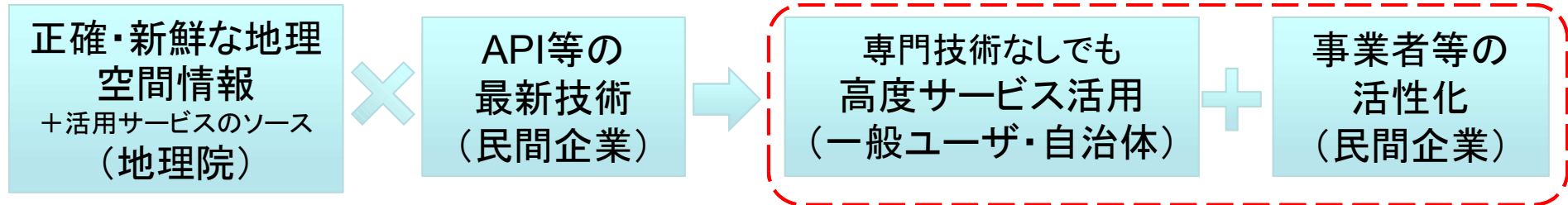
- オープンデータ戦略**
 政府オープンデータ戦略に準拠した形でウェブに地図データを提供
- クロスプラットフォーム戦略**
 業界標準的な方法で提供することにより種々のプラットフォームで活用
- パートナー戦略**
 アプリを作るパートナー(約100者)との情報交換・意見交換を重視
- オープンソース戦略**
 地理院が提供するサービスはオープンソースソフトウェアとしGitHubに公開



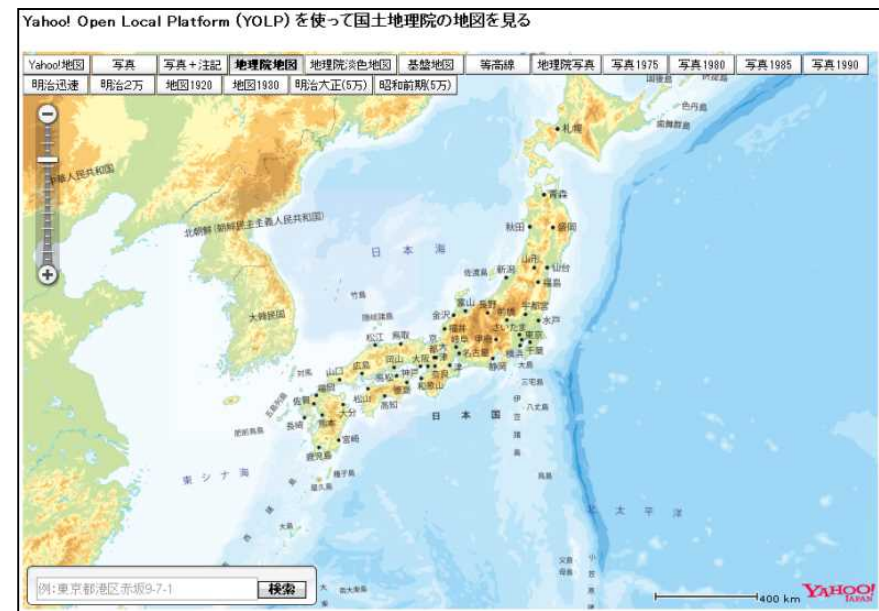
様々な応用に対応するための
パートナー戦略

インターネットの良質な「地図インフラ」の提供を追求

国土地理院の基盤データ「地理院タイル」は、民間の優れた技術と自由に組み合わせることで活用頂くことを追求



地理院地図 × Google Maps API



地理院地図 × Yahoo! 地図 API

【組み合わせ可能であることが実証されているソフトウェアや技術の例】

Google Maps JavaScript API, Yahoo! Open Local Platform, iPhone アプリ(FieldAccess等)、Androidアプリ(地図ロイド等)、デスクトップアプリ(カシミール3D、gittok等)、WebGL 3次元表示(Cesium等)、3Dプリンタ印刷(STL、VRML出力)、CADソフトウェア(Autodesk Infraworks、TOWISE等)、GISソフトウェア(ArcGIS、GeoMation、PC-Mapping、QGIS、SIS、SuperMap GIS、地図太郎等)等

【地理院地図の目的】

地理院タイルが汎用(ユニバーサル)に利用できる環境を提供し、新技術にも対応可能であることのショーケースともなること

○ 3D対応

自治体・ユーザによる避難経路策定・防災計画作成に資する3次元表示の要望

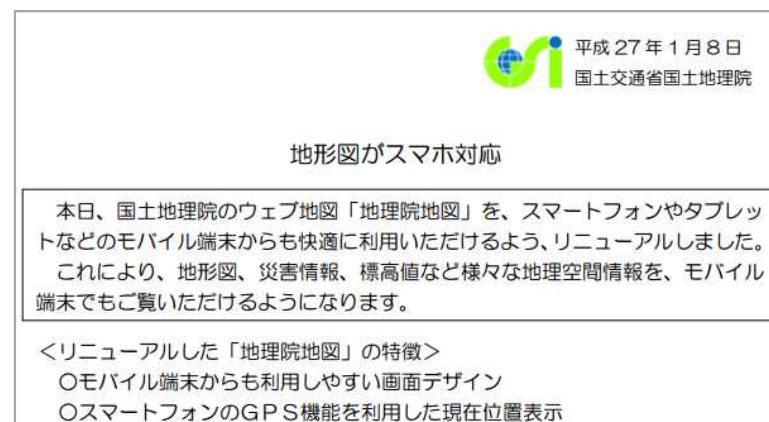
- 平成26年3月19日「地理院地図3D」を公開
 - 3Dプリンタで出力できる3Dモデルをブラウザで表示するもの
 - 広島土砂災害や御嶽山噴火への対応で政府の災害対応にも利用



○ タブレット・スマホ対応

防災担当者・一般ユーザによるモバイル・新たなOSでの地理院地図表示の要望

- 平成27年1月8日の
 - 地理院地図リニューアルで対応
 - 「どこでも」地理院地図を閲覧可能



「地理院地図パートナーネットワーク会議」にて、パートナー（事業者・ユーザ）との意見交換、技術的課題の整理等のテーマによる少人数討議を実施
→ 課題を今後の施策に反映していく



意見交換の様子
(2014/11/20 第1回パートナーネットワーク会議)

少人数討議の様子
(2015/2/4 第2回パートナーネットワーク会議)

